

耐震改修の促進は

耐震診断を促し、工事施工を啓発



竹内 一美 議員



来るべく大震災に備え平成20年に阿久比町耐震改修促進計画を計ってきた。「自分の身は自分で守る」は安心安全の原点であると考えている。

そこで、現在の木造住宅及び公共施設の耐震化実施状況について伺う。

また今後、建築物の耐震化をさらに促進していく対策は。



民間木造住宅の耐震状況については、耐震診断が370件、耐震改修が49件となっている。公共建築物の耐震化工事は概ね完了し、未施工の建築物は、役場庁舎となっている。

住宅の耐震診断を促す方法としては、ダイレクトメールを郵送していく。耐震改修工事を促進するには、広報や回覧等を行い、工事施工内容等の啓発を実施していく。



耐震改修相談会の様子

防災計画の見直しは

県との連携を密に



東日本大震災を踏まえ、地震津波の想定規模の拡大被害想定が見直される。それに対する各自治体の防災計画の見直しも急務になっているが、対応について伺う。



国の中央防災会議は、現在3連動（東海・東南海・南海）地震の想定見直しを進めている。大規模災害が発生した場合、被害を最小限にとどめ災害の拡大を防止するのが急務である。愛知県と、阿久比町の地域防災計画は連動させてあるので、国・県の見直しに続いて愛知県と連絡を密にして防災計画を見直す。



災害状況

撮影：吉嶺充俊
首都大学東京 土質研究室
2007 新潟県中越沖地震被害